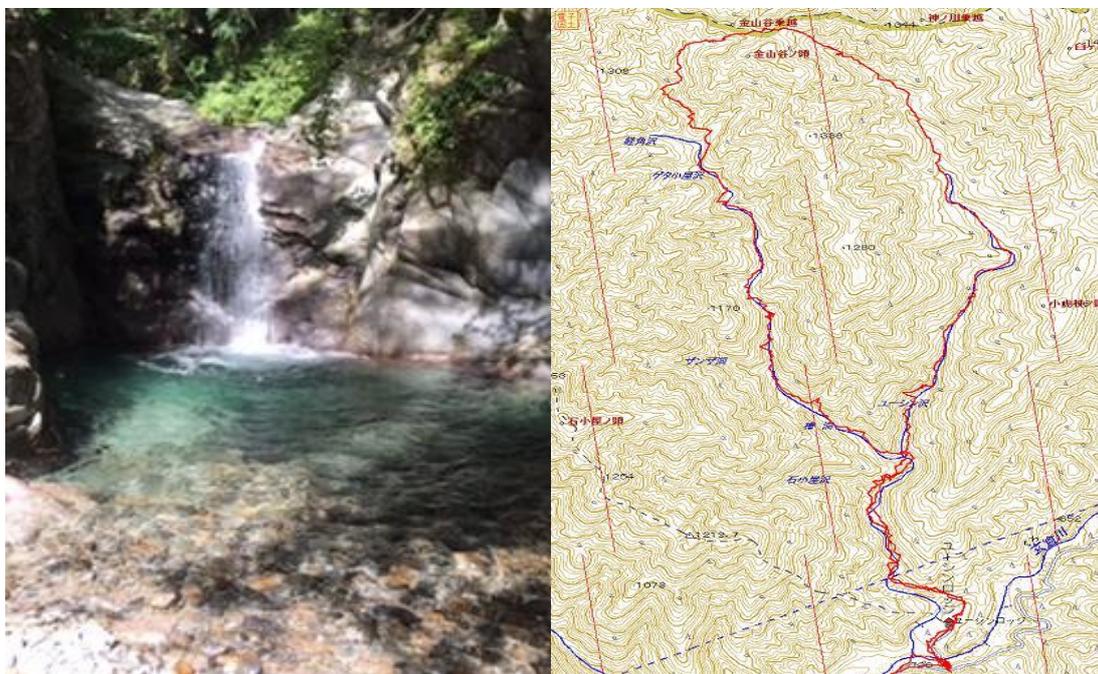


丹沢 檜洞・ユースン沢 山行報告



【日付】 2017年7月8・9日

【天気】 晴れ

【メンバー】 CL上茂・SL小原・吉川・石橋・加藤・渡邊3・山本(記)

【コース】 1日目：寄木大橋(9:00)～雨山峠～玄倉林道～ユースンロッジ～檜洞沢 830m 付近 BP(14:10)

2日目：檜洞沢遡行(6:30～)金山乗越～ユースン沢下降(11:30～15:00)雨山峠～寄木大橋(18:50)

土・日の連休を取ることができたため、泊まりの沢登りに行ってみたい！と小原さんに相談したところ、上茂さんに企画をお願いし、檜洞を提案いただいた。沢でのんびり癒されて、焚き火を囲んで宴がしたい・・・天気にもメンバーにも恵まれ、大充実の沢登り山行だった。

《1日目》

寄木大橋9時スタート。ユースンロッジまでの道のりは登山道で標準コースタイム3時間45分の道のりだ。入渓までは沢を何度も右往左往しユースンロッジへ。この道は雨天後の増水時は登山道としての利用はさけたほうがよさそうだ。ユースンロッジ右手を歩き、発電施設を越えて13時15分入渓。



寄木大橋の前からスタート！



入溪地点。きれい

さっそく美しいブルーが目に飛び込んできて、沢初心者の私はこの先への期待感をふくらませ、小躍りしながら後に続く。3m滝、右をへつって越える。

その後CS3mを岩棚に沿ってまき、懸垂下降。

830m付近にて本日の寝床を設営。3ちゃんが力仕事をてきぱきとこなしてくれて、立派な焚き火台付きのテント村が作られた！





焚火職人の石橋さん



ピザ焼きに挑戦♪



小原さんの釣り上げたイワナ



焚火を囲んで宴会。たまりません！

小原さんの釣ったイワナや、持ち寄ったソーセージ、枝豆・野菜やきのこ、ピザなどを焚き火で焼き、ビールで乾杯！！ゆかいで楽しい仲間たちとの宴はビールもつまみも何倍もおいしく、最高の時間だった。

風もなく穏やかな夜で、私と小原さんは最後まで飲んで食べ続けたのでした。9時半就寝。。。

《2日目》



いざ、出発！！

ここは天国・・・

6：30、檜洞遡行スタート。天気に恵まれ、快晴！

荷物をデポして身軽に遡行ができ、心も足取りも軽快。

玄倉川の癒し系沢の文字通り、美しいナメとトロ・グリーンに輝く釜に感動！シャッターをきる手がとまりません。



ユージン沢分岐手前。3ちゃんあえて左からへつってます！



巨石群をよじ登る



美しい大ナメ3段8m。



檜洞名物・テーブル岩にてみんなで記念撮影

沢登りをめいっぱい楽しむために、あえて難しそうなるルート取りをする先輩たちを目の当たりにし、ワクワクさせてもらったり、美しい釜に浸かる加藤さんに笑わせてもらったり、楽しくて気付けばあっという間に金山谷乗越へのつめに入った。つめのタイミングが少し早く、ユーシン沢との中間尾根に出て、そこから読図をしながら乗越(1315m)を目指した。乗越から沢を背にし、東に進むとすぐにユーシン沢下降路のふみ跡が見つかる。

12時、ユーシン沢下降スタート。

1160m付近まで水がなく、ガレ場を下る。涼を求めて足取りが速くなる。



ユーシン沢下降中。天気良すぎて暑い・・・



緑が青々としていて、気持ちがいい。

逆くの字・2段12m滝、向かって左を懸垂下降中。



おてんばな上茂さんと石橋さん



白い岩と釜のブルーの配色が美しい

2箇所懸垂ポイントがあったが、全体的にゆったりとした流れで下降には都合の良い沢であった。

時間がおしていたため、吉川さんを先頭にサクサク下降する。吉川さんとは初めて山行を共にさせていただいたが、健脚っぷりに終始驚きっぱなしであった。

15時、幕営地に戻ってきた。この後の峠越えの帰路にそなえ、沢で冷やしていたスイカをみんなで食べた。

美味しく食べることができ、ここまでかつぎ上げた甲斐があった！



スイカを食べる加藤さん☆



沢靴を脱いで登山道へ。疲れた身体にこたえる・・・

いそいで撤収作業をし、黙々と登山道をいく。「こんな道だったっけ・・・」前日に歩いてきたとは思えないほど、記憶にない。辛いことはすぐに忘れるものだ。

3ちゃんのナイス判断で、行きの登山道よりもショートカットをすることができ、18:50、ヘッドランプを使うことなく、無事に寄木大橋まで戻ってくることができた。

ハードな山行をみんなで乗り切った達成感で、全員で握手をした。

最高に充実した1泊2日の沢登り山行だった！！

計画して下さった上茂さん、楽しい時間をありがとうございました！！